

仮設レンタル配管利用を推進し、CO2排出量を削減

～環境配慮型の工事を目指し3Rを強化～



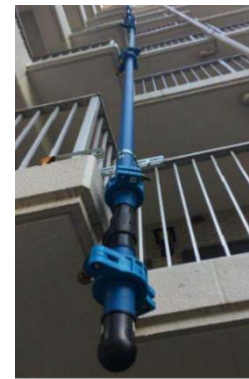
三菱地所コミュニティ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長：大井田 篤彦）は、マンション共用部の給水管更新工事において利用する仮設の給水管について、再利用可能なレンタル配管の利用を積極的に管理組合へ提案し、環境に配慮した工事実施を推進いたします。

これまでの仮設配管は、新品の塩化ビニール管を使用し短期の利用のみで製品耐用年数を全うすることなく産業廃棄物として処分していましたが、仮設給水管を用いる給水管更新工事においてレンタル配管を利用することで産業廃棄物が削減されます。これにより、従来型の塩化ビニール管利用時と比較してCO2排出量の約80%の削減が可能になります。

当社はこれからも環境に配慮した工事提案を実施し、3Rの強化と持続可能な工事業務運営に寄与いたします。

■仮設給水管について

マンションの共用部給水管が劣化すると漏水事故や赤水発生の原因となるため更新工事が必要となります。工事の際はライフラインを止めないために仮設給水管を利用して各住戸へ水道水を供給します。



リユースV配管

■仮設給水管のレンタルについて

当社で採用するレンタル給水管は、メーカーの工場にて「洗浄」⇒「殺菌」⇒「検査」の工程を得て再度使用できる仮設配管材として再生しておりますので、お客様への安心安全と環境配慮の両方を実践できると考えております。



製品保管と再生工程写真：株式会社光明製作所（本社大阪）提供資料

以上

【お問合せ先】

三菱地所コミュニティ株式会社 経営企画部 メール：mjc-kouhou@mec-c.com